

2021年9月21日

## オリンパス、人間工学に基づいたデザインと高い血管封止性能を備えたエネルギーデバイス「POWERSEAL」を発売

オリンパス株式会社（本社：東京都新宿区）は、一般外科・消化器外科や婦人科、泌尿器科などにおける腹腔鏡手術や開腹手術で血管やリンパ管の封止や組織の剥離、把持などに使われるアドバンスドバイポーラデバイス「POWERSEAL（パワーシール） Curved Jaw Sealer and Divider, Double Action」を2021年9月から米国、プエルトリコ、オーストラリアで発売した。

本製品は「POWERSEAL」シリーズの最初の製品で、人間工学に基づいたハンドル操作部のデザインと高い血管封止性能により、手術の効率化に大きく貢献する。日本、ヨーロッパ、その他地域についても、各国の法規制対応の準備が整い次第、順じ上市する。

同社ではこれまで、バイポーラ高周波と超音波の統合エネルギーデバイス「THUNDERBEAT（サンダービート）」や超音波エネルギーデバイス「SONICBEAT（ソニックビート）」をはじめとする幅広い手術用デバイスを提供してきたが、今回発売の「POWERSEAL」により、幅広い診療科での安定した手術の実現をサポートするとともに、アドバンスドバイポーラ市場において競争力の高い製品を導入することで、エネルギー デバイスのポートフォリオのさらなる強化を目指したいとしている。